中部日本
戰時版

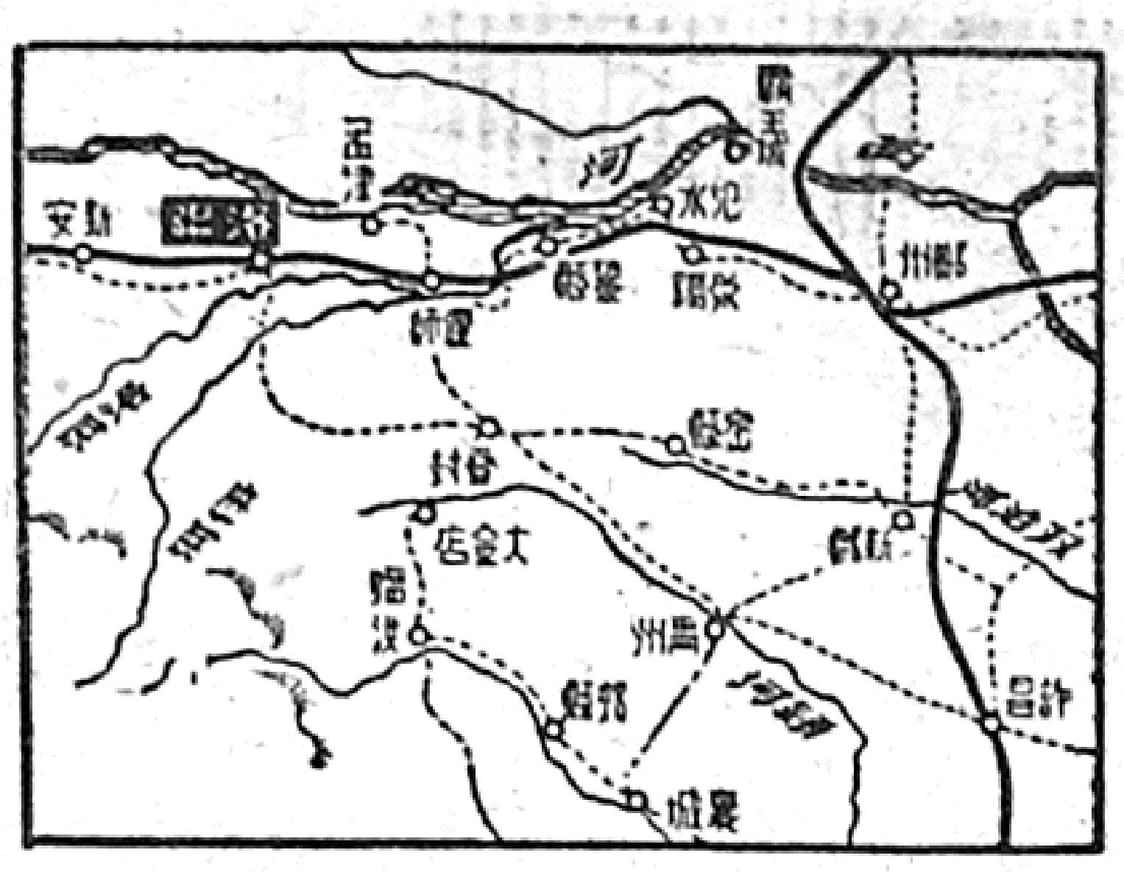
發行所
中部日本新聞社
名古屋市中區西川端町一ノ五
[illegible]
一ケ月七十錢（一部三錢）
[illegible]

河南の敵第二線潰ゆ

【河南前線にて赤谷、關原兩報道班員五日發】蔣鼎文麾下四十個師四十万の兵力を有する敵第一戰區は戰區防衛の中心を汜水に置きこゝを主軸に黄河南岸西方の山岳地方と東は京漢沿線河南大平原に亘る厖大な陣地を布き特に汜水と登封、臨汝、伏牛山脈間及び新黄河一帶に恒久的陣地を構築し、わが機械化部隊の進撃を阻止せんとしてゐたが特に湯恩伯が中原會戰後副司令として就任後は四個集團軍約廿五万をこの方面に配し戰區防衛の全權を掌握して戰力の培養に努めて來たまた昨秋各軍の配備大變更を斷行し黄河河防強化のため重慶軍中最強を誇る第十三軍司令石覺を臨汝付近に配し第一戰區防衛陣地を一段と強化し、さらに対日総反攻を急ぎつゝあつたが今次作戰によりその機先を制せられ相次いで要衝は陥落して敵が誇示した河南防衛第二線陣地はこゝに脆くも潰えたのである

堅壘臨汝を抜く

敵要衝相次いで陥つ



【河南前線〇〇にて關原、篠原報道班員六日發】郟縣を抜いたわが先遣鐵獅子部隊は敵第二十二師の敗敵を急追して一路臨汝、郟縣街道を驀進し臨汝（禹縣西方三十キロ）に據る隨直系第十三軍麾下の第百十七師（師長劉万天）約八千の敵に対し三日早朝以來猛攻、健脚部隊主力が東方から正面を衝きその一部が北方から南下すれば敵は脆くも敗走、これを追撃して同日夕刻臨汝城に突入これを完全に占領し敵の縱深防禦線に深く楔を打込んだ、臨汝は湯恩伯が第三防禦陣地の最重要據點として特にコンクリートの堅固な陣地を構築し更に重慶特務工作院の養成所を設けるなど地理的にも政治的にも重要地點であつたがわが精鋭の前に敢へなく潰え去つた

襄城に感激の日章旗

三方から敵退路を遮斷

【河南前線〇〇石崗、谷口報道班員六日發】李仙州の指揮する南方兵團の一環として敵第十二軍第廿二師（師長張英）約九千は襄縣方面から北上直ちに廿師（師長[illegible]）と[illegible]の重要據點[illegible]を中心として[illegible]てわが[illegible]が京漢線の要衝を確保したわが精鋭は息つく暇もなく襄城攻略戰を展開、正面から[illegible]突き、新鄭方面から南下した一部有力部隊は北方から、更に臨潁方面から北上した他の部隊は南方からそれぐ退路を遮斷して猛攻を加へ三日夕刻城郭の突端に突入四日午前一時には早くも襄城に感激の日章旗を翻へした

郟縣を占領

【河南前線〇〇石崗、谷口報道班員六日發】一日許昌に感激の日章旗を翻へしたわが精鋭の一部は快速鐵獅子部隊を先頭に許昌陥落に混乱せる敗敵を西方に驅逐しつゝ禹縣、郟縣攻略部隊と相呼應して一直線に郟縣（許昌西方七〇キロ）を衝き敵二十二師の一部が死守する郟縣城を三日完全に占領した、なほ郟縣を攻略したわが部隊はさらに快速鐵獅子部隊を先頭に同地周辺の敗殘集部隊を掃蕩追撃中

鄭州に治安維持會結成

【鄭州にて石崗、杉田報道班員六日發】皇軍の鄭州入城を傳へ聞いて住民も續々歸來し四月二十九日には治安維持會が結成され住民の歸來工作を開始した

呂公良を見殺した湯恩伯

【河南前線〇〇にて赤谷、篠原、關原報道班員六日發】今次河南作戰開始されるや湯恩伯は珍らしくも積極的攻勢をとり鄭州にも許昌會戰を挑んだのであるがわが精鋭諸部隊は四月二十九日独特の機動力を發揮して許昌を包圍猛攻を加へさらに三十日未明側面攻撃に轉ぜんと漸く隊伍を整へつゝあつた李仙州の南方軍の機先を制してこれを完全に切つたのである、一方許昌死守を命ぜられた敵暫二十九師長呂公良はわが猛攻に耐へかね三十日早朝湯恩伯に増援部隊を要求し更に「増援來らずばわれ死守し得ず」と再び救ひを嘆願したがこの時は既に湯恩伯が最も期待してゐた李仙州の挺進部隊が行動開始の直後であつたため態勢は整はざる内に叩きつけられ混乱狀態となり呂公良は遂に「われは城の北角にありて城と運命を共にせん」と最後の増援を求めつゝ戰死を遂げたのである

敵の逆襲を封ず

忽ち禹縣を完全占領

【河南前線にて篠田、梅野、赤谷報道班員五日發】南下せるわが諸部隊の側背を衝かんとして禹縣方面に北上しつゝある敵第二十九軍（軍長馬勵武）麾下の第九十一師（師長全英）第百九十三師（師長楊鵬）並に第三十一集團軍直轄の第二十師（師長劉將）など約二万の敵に対しわが精鋭諸部隊は突如敵の意表を衝いて三日敢然縱隊となつて禹縣（鄭州西南方七十キロ）に殺到、敵の北上を遮斷して東、西、南と三方面から包圍、三日晩來同城守備の外郭陣地に據る敵八千余に対し猛攻を加へ壯絶なる白兵戰を展開して同日夕刻禹縣城の一角に突入、四日朝完全に占領、引續き敗敵を急追中である

敵屍二千四百

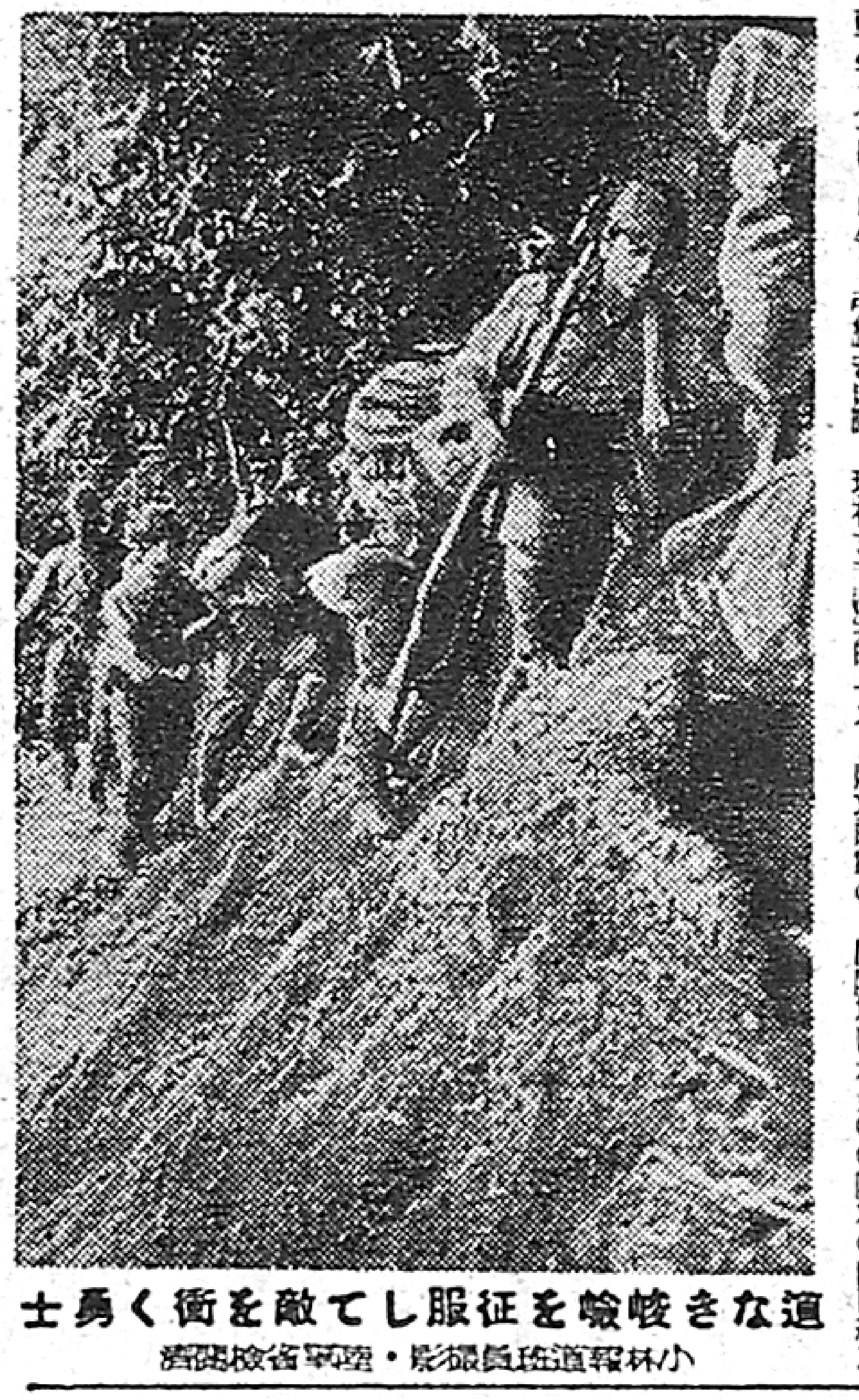
現在までに判明せる禹縣攻略戰の綜合戰果左の如し

△わが方に收容せる敵死体二、四〇〇△俘虜三〇〇△鹵獲品迫擊砲一二、速射砲二、重機關銃四、輕機關銃四六、小銃四六八

なほわが軍の禹縣攻略に小癪にも挑みかゝつた在支アメリカ空軍P51、P40二機（内不確実一機）を地上火器によつて擊墜した

漢鷲城攻略部隊に賞詞

【河南最前線にて小山報道班員六日發】覇王城陣地の前面の漢鷲城陣地に対する挺身攻勢こそは今次作戰の緒戰を飾るものであつた、同陣地はわが〇〇陣地の前面約二百米の斷崖上にあり、わが先遣隊は豪雨の中に斷崖を登攀、廿日三時完全にこれを占領した、その偉功に対し〇〇部隊長は二十九日この突擊部隊の殊勲に対し賞詞を授與した



道なき峻嶮を征服して敵を衝く勇士

小林報道班員撮影・陸軍省檢閲濟

重慶全く呆然自失

皇軍の底力に驚愕の極

【南京本社特派員六日發】蔣直系の湯恩伯軍に対して下されたわが今次作戰の大戰果は敵重慶陣營に異常な衝擊を與へてゐるがニューヨーク・タイムス重慶特派員アトキンソンは「今次作戰に於る日本軍の意圖は判明しないが相當大規模な進攻作戰であることは間違ひなく、太平洋戰線やインド方面にその戰力を消耗しつゝあると見られた日本が河南においてなほ攻勢に出でつゝあることはその限りなき底力に対して再吟味しなければならない」と述べてゐる、敵重慶陣營では足に火がついたやうな狼狽振りでわが企圖が如何なる出血作戰か新たな進攻作戰か判斷に迷ひ、ために河南省經營に於る湯恩伯の指揮命令でも顚倒る失態を晒き新配備兵力十七個師をもつてしてもわが進攻一度起るや緒戰に既に大敗を喫され頽勢挽回の余地なき慘狀にある

僅か三ケ月で黄河鐵橋完成

【黄河々畔〇〇にて篠田、小川報道班員五日發】重慶軍は昭和十三年黄河を決潰し更に京漢線に架かる黄河鐵橋を根本的に破壊した、その後わが第一回の架橋も増水期には流されたがわが〇〇部隊長は迫擊砲、山砲の砲火をもつてする敵の執拗な妨害を排除し遂に陸軍記念日の三月十日豫定を遙かに短縮して完成全通を見たのである、この黄河架橋こそ今次作戰における敵牙城鄭州攻略を容易ならしめたものゝ一つである

眼下に鐵獅子奮迅

空から観る河南殲滅戰

【〇〇基地にて太平報道班員六日發】わが陸軍航空部隊は連日に亘つて友軍地上部隊の進撃に協力してゐるがこれは五月三日岡本毅夫大尉（神戸市出身）山下利一中尉（鹿兒島縣出身）の〇〇〇機に搭乘、禹縣周辺の河南平野に展開された豪快無比なる鐵獅子部隊の猛攻振りである――この日午後基地を進發したわが機は峻嶮を眺めながら獅子のやうな態勢、褐色の地肌を眼下に一路進攻した、見れば既に東北南の三方面にはわが地上部隊の精鋭がひしひしと包圍戰線を完成しつゝある、更に眼を轉ずれば眼下に展開する沃野には鐵獅子部隊が猛烈な砂塵を舉げて猛進撃を續けてゐる、逃げ遅れた敵兵がトーチカに入るとトーチカは直撃した、鐵獅子部隊は河南平野を狭しとばかり獅子奮迅に跳躍してゐる、わが機翼をうち振つて友軍の戰果を祝す、ぼつ〳〵と炎のやうに見える、見れば五ケ所からもくもくと火焔を噴出してゐる、正方形の部落禹縣へ廿四キロの宋庄だ、すでに友軍鐵脚部隊は東西北の三方から包圍態勢を完成してゐる

丹竹を猛爆

【〇〇基地六日發同盟】わが陸軍急降下爆擊機隊は五月五日敵在支アメリカ空軍がその前進基地として航空施設の整備増強に狂奔しつゝある廣西省丹竹飛行場をまたまた急襲、付屬軍事施設を木端微塵

ニニコ諸島に敵上陸

ニューギニアに二ケ師半を邀擊

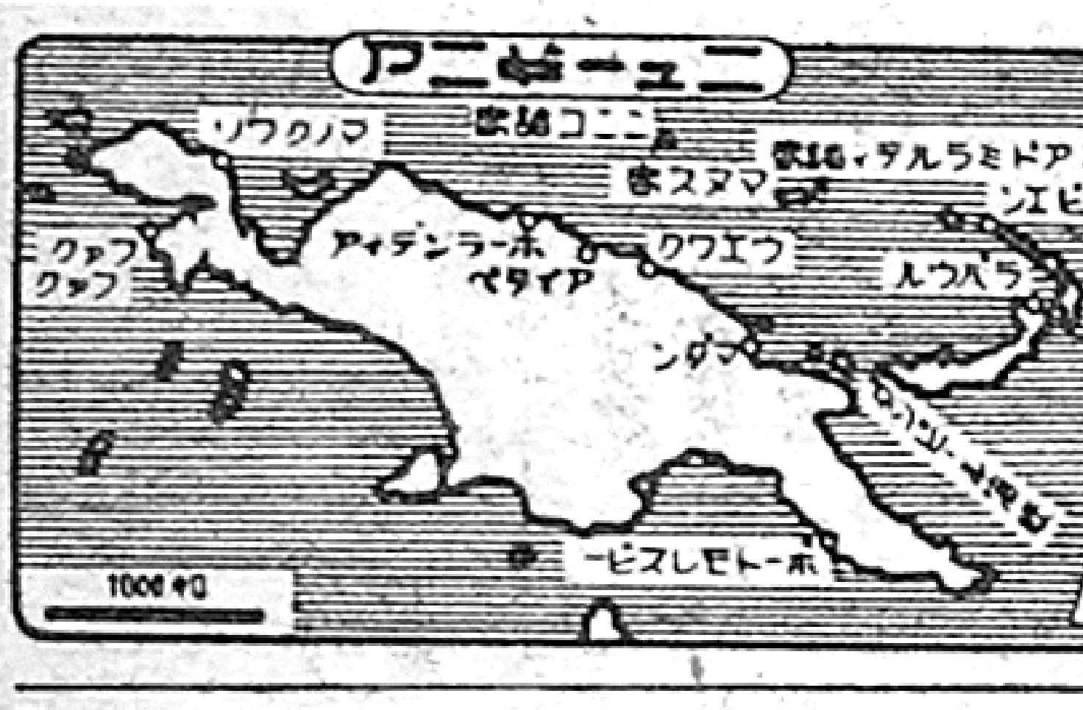
四月二十九日より五月五日まで一週間の綜合戰況のうち主なるものは次の如くである

支那方面許昌作戰 黄河及び新黄河を渡河し四月十八日作戰を開始した北支那方面のわが各部隊は鄭州、許昌を陥り急遽許昌付近より急轉回し汜水方面に出てゐた敵部隊に対し京漢線西側地區の湯恩伯軍に対し進擊を續けてゐる、許昌攻略戰の戰果は敵の遺棄死体（呂公良の戰死を含む）二、四三〇、俘虜八五八、わが方の戰死九二

同航空作戰 地上部隊に呼應しこれに協力すると共に敵基地に進攻、地上部隊の進擊を容易ならしめ廿九日玉山、廿日興安を奇襲、滑走路を爆碎するとともに敵機一機を擊墜、一日及び三日南陽を爆擊し付屬施設を爆碎、在地飛行機一機を炎上、廿九日九江地區に敵機十機來襲これを邀擊し、一機を擊墜、九機を大破

佛印、泰方面 四月の敵機の來襲は佛印に十一回延四十九機、泰に九回延二十三機

ニューギニア方面 ホーランディア付近に上陸部隊一個師團半、アイタペに上陸部隊一個師團に達したやうで所在のわが部隊は引續き敵上陸部隊と交戰中である、ウエワク北方ニニコ諸島にも敵が上陸した模樣である

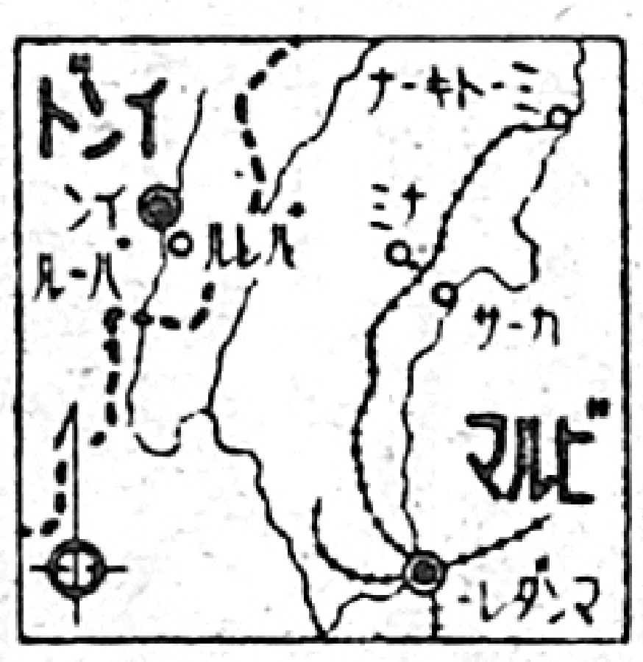


北太平洋方面 四月下旬における敵機の來襲は六回延十三機、この方面の天候は五月が一番良好でありアッツ、キスカ兩基地の強化完成も考へられ警戒を要する

中部太平洋方面 四月十六日帝國潜水艦はマーシャル諸島東方海上で敵航空母艦一隻に魚雷二本を命中せしめた内南洋方面に対する敵基地航空部隊の來襲は激しく二十六日ポナペ、二十七日トラック、三十日メレヨンに大型機四十八機、小型機二十機合計六十八機が現はれわが方はB24、B25戰闘機五機を擊墜したがわが方一機自爆した、三十日カロリン諸島南方海面に敵機動部隊出現三十日五月一日にトラック島を空襲、一日にはモートロック島に砲擊を加へ來つた

ナミ空挺部隊強襲

補給に焦る敵に鐵槌



【インド〇〇基地五日發同盟】ビルマ方面陸軍航空部隊の精鋭は四日午前大舉してナミ空挺部隊飛行場を奇襲攻撃、超低空で果敢な銃爆撃を反復、在地の敵輸送機ダグラスDC3型六機、大型グライダー十一機計十七機を擊破（内ダグラスDC3型三機は炎上）せしめたうへ敵兵員約百名及び高射機關砲一を擊碎、迫り來る雨季を前にし空挺部隊の補給工作に狂奔しつゝある同飛行場ならびに施設を壊滅、全機無事歸還した

米戰闘機と快速艇が同士打

【リスボン四日發同盟】メルボルン來電＝西南太平洋反樞軸軍司令部は四日の戰況公報でラバウル付近で米軍戰闘機と快速艇が「不幸な戰闘」を演じ戰闘機二機を喪失死傷多數を生じた旨發表したがニューギニア基地からのトランス・ラジオ電報はこの笑止な同士打ち振りを次のやうに報じてゐる

去る三十日米軍戰闘機が友軍の快速艇を日本軍舟艇と誤認、攻撃を加へて坐礁せしめ快速艇も戰闘機一機を擊墜した、坐礁した艇の救援に馳せつけた他の快速艇も戰闘機の攻撃を受け一機を擊墜したが大破した

大好評上映中
諸君の名寶で
明日の英氣を養ひませう
潜水艦作戰映畫
文部省推薦
轟沈
日本映畫社

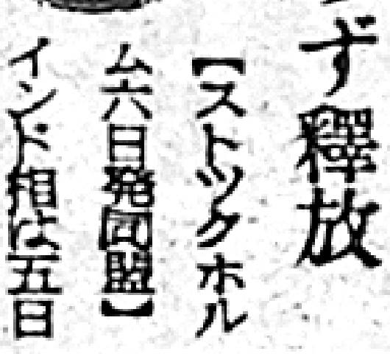
時局語

新編暫編

河南進攻作戰の報道をみてゐると、わが猛攻を受けて潰滅した重慶軍のなかに新編第四十二師とか、暫編第二十七師などと現れてゐるが、この「新編」「暫編」とはどういふ意味をもつてゐるのであらう

普通「新編」といはれるのは新たに選拔したり、または統合した部隊號の上に冠する重慶軍の名稱で、大抵の場合は精鋭をもつて編成する場合が多く、裝備も比較的に優秀だ、これに引かへ「暫編」は文字通り狩集めの雜軍につける名稱で、一定の期間を定め、その間に訓練ぶりなり、戰闘に參加した實績を檢討した上で暫編をとりのぞき正規部隊とするのが通例となつて居り、いはゞ重慶軍が兵員向上の立場から考へた苦しい手段の一つである

ガンヂー翁病氣治らず釋放



【ストツクホルム六日發同盟】インド相は五日夜半過ぎ「ガンヂー翁の健康に関する醫師の報告に接しインド政府は翁を無條件釋放に決定「右は醫療上の見地にもとづく」と發表六日無條件釋放されたと傳へてゐる＝寫眞は力翁

筆陣

皇國の運命をおのおのと見つめながら、戰局の苛烈さを身につけて、眞にわれら何をなすべきかを自覺してゐるものは、それぐの職場職場で全生活を打ちこんで働いてゐる。物事を考へ、外部に眼を向ける暇はない。

× ×

專門學校、大學の教授である某々博士や、婦人會幹部である某々婦人などが、連れ立つて街を見物して歩き、通行人の服裝や行動を品評して發表したものなどを見ると、その事自体が銃後のある斷面を示してゐるやうに思はれる。

× ×

それとは反対に、民衆生活と直接關係のある縣廳や市役所の役人などは「街に出たり」「工場や學校を訪れ」たりすることを煩らしがられるやうでなく、もつとしば〳〵街頭に出る方がよい。そして默々として働いてゐる人々を、仕事以外のことで心身を疲れさせないやうに工夫してやるべきである。